



進学だより



2020年6月26日 vol.03

■ 期末考査が始まります

いよいよ今年度初めての定期考査がはじまります。それぞれの学年で取り組む意味が異なると思います。9月からいよいよスタートする各学校の入試の可否にも関わる3年生、昨年より精神的にも成長した姿を期待したい2年生の取組み、そして高校生となり初めての定期考査に臨む1年生、それぞれが「結果」を求める取組みをしてくれることを期待しています。

先日で進学を希望する3年生の1回目の進路面談が終わりました。希望する学校や分野、入試方法により対策はそれぞれ異なりますが、全ての生徒に言えることは2学期が始まるまでに、学力や表現力(志望理由書・面接・小論文)など入試に対応できる力を身につけていかなければならないということです。そのためにはより「早期から」、そして「具体的に」、また「計画的に」学習や準備に取り組む必要があります。期末考査が終われば、決して気を抜かず、それぞれの目標達成に向け行動してください。



6・7月	進路に関わる行事
6月29日	期末考査
～7月3日	※7/1は家庭学習
4日	進学模試(特進全学年)
10日	漢字検定、簿記検定(S3)
14日	知のクラスマッチ 計算③
18日	進学模試(特進3年)
21日	知のクラスマッチ 漢字④
28日	知のクラスマッチ 計算④
31日	終業式

■ 小論文とは？

入学試験では、多くの大学・専門学校で小論文が出題されます。

文部科学省の掲げる学力の3要素である

- ①知識・技能の確実な習得
- ②(①をもとにした)思考力、判断力、表現力
- ③主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度

のうち、英語や数学などの受験科目により①を測り、小論文や面接(口頭試問も含む)で②を測り、調査書や志望理由書などで③を測ることとなります。「～だと思ふ」「～して楽しかった」など、ある出来事から自分の心境や感想を述べた文章である『作文』と異なり、『小論文』は問われていることに対して「私は、～と考える」という意見を述べ、「なぜなら、～だからだ」という理由(論拠)を筋道立てて説明し、相手を説得する文章であり論理性や説得力の高さにポイントが置かれます。実際の小論文の出題には、高校で習った教科の知識だけでは答えの出ない、色々な学問の領域で論じられている事柄や、現代社会の中で多くの人々が頭を悩ませている事柄を考えさせるような設問が出されています。ですから、各教科と同様に、小論文にも勉強が必要です。

2021年度入試 要注意テーマ

- 新型コロナウイルス
- 人工知能
- 働き方改革
- 平成を振り返って
- 入試制度改革(主体的な学習)
- 災害と日本
- 人口減少社会(少子高齢化)

■ 小論文の勉強について

まずは何より文章を書くことに慣れることです。フォーサイト手帳や週番日誌の記入、部活動での日誌など文章を書く機会が多くあります。「～だと思ふ」「～して楽しかった」のような作文風な文章ではなく、「私は、～と考える」「なぜなら、～だからだ」のような論理的な文章を心がけていきましょう。また探究学習や課題研究なども論理的に考える絶好の機会です。授業を通じて、「深く思考する」習慣を身につけましょう。

また、先に述べたように入試小論文では入学後に取り組むような、いろいろな学問の領域で議論されている事柄や、現代社会の中で多くの人々が頭を悩ませている事柄を考えさせるような設問が出されています。それに答えるためには、普段の生活の中でそのような問題に関心を持ち、それについて考える力を身につけておきましょう。

